

# 御翔山



広島県尾三地域事務所建設局  
野間川ダム建設事業所  
広島県三原市円一町 2-4-1 TEL(0848)64-2322

# みづぎ 御調ダム

## 御調ダムの概要

御調ダムが建設される御調川は、その源を御調郡久井町の北部宇根山（標高698.8m）に発し、そのまま南流し垣内付近で東向きを変え、途中野間川、八幡川などと合流しながら御調郡御調町市の家屋密集地を通りぬけ、芦田川へ合流する流域面積154.9km<sup>2</sup>、流路延長34.2kmの一級河川です。

御調川流域は、過去、台風や集中豪雨などにより、しばしば大災害に見舞われています。特に、昭和45年8月の台風10号による被害は大きく、堤防の決壊などによる人々の被害は大きなものでした。

また、この地方は瀬戸内海型気候に属して寡雨のためかんがい用水が不足し、しばしば干ばつに見舞われています。

こうした問題を解決するために、御調ダムは昭和48年4月に調査を開始し、昭和61年7月にはダム本体工事を完了した。その後周辺の整備を行い、平成元年3月まで、16年の歳月と約139億円の建設費を投じて建設したものです。

## 御調ダムの目的

### ◎洪水時の大水をくいとめます。（洪水調節）

河川の氾濫は、尊い人命や貴重な財産を奪ってしまいます。御調ダムは、大雨が降っても雨水が一度に川に流れないように貯水し、下流の町々を洪水の被害から守ります。ダム地点の計画高水流量260m<sup>3</sup>/Sのうち、150m<sup>3</sup>/Sの洪水調節を行います。

### ◎豊かな川の流れを保ちます。（流水の正常な機能の維持）

日照りが続き、川の水が少なくなると、御調ダムに溜めた水を少しずつ放流し、水不足をなくすとともに、豊かな清流を守ります。また河川水の回復によって農業用水の確保も容易になります。

## 事業の経緯

昭和47年4月	予備調査開始
昭和48年4月	実施計画調査開始
昭和50年4月	御調ダム建設事業所開設
昭和53年10月	用地基準書調印
昭和53年3月	県道宇津戸八幡線工事着工
昭和55年7月	津賀大橋架橋工事着工
昭和56年12月	ダム本体工事着工
昭和57年12月	津賀大橋完成
昭和58年8月	県道宇津戸八幡線完成
昭和58年10月	ダム定礎式
昭和61年7月	ダム本体完成
昭和62年11月	試験満水開始
昭和63年2月	竣工式

流域一覽図



凡例

	集水区域
	かんがい区域
	洪水氾濫区域
	ダム
	貯水池
	河川

1 : 200,000



■ダ ム

位 置	左岸 広島県阿蘇郡御調町大字津置地先 右岸 広島県阿蘇郡御調町大字津置地先
型 式	重力式コンクリートダム
堤 高	53.1m
堤 頂 長	206.2m
堤 体 積	114,000 <sup>m</sup> 3
非越流部堤高	EL178.5m
常用洪水吐	オリフィスによる自然調節 (高3.10m×巾2.70m×1門)
非常用洪水吐	クレスト自由溢流 (高2.00m×巾3.50m×10門)
計画高水流量	260 <sup>m</sup> 3/S
ダム設計洪水流量	972 <sup>m</sup> 3/S
利水放流管	口径900mm1条
表面取水ゲート	(高0.80×巾0.80×4門)

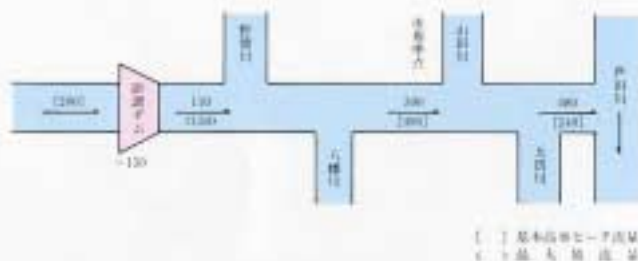
貯水池容量配分図



■水没補償

水没戸数	7戸
田	7.30ha
畑	0.94ha
宅地	0.78ha
山林	23.55ha
墓地	0.16ha
その他	0.42ha

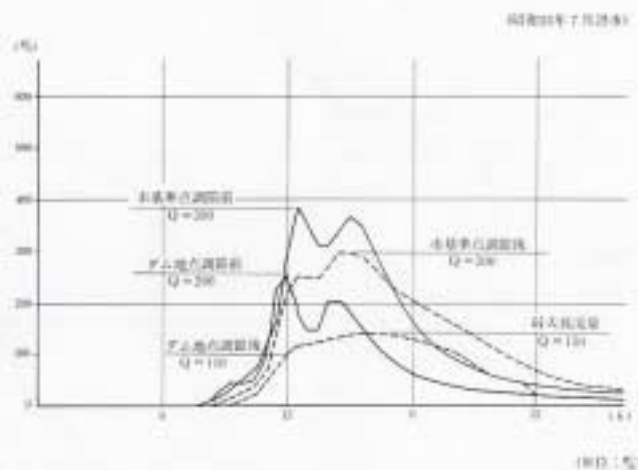
計画高水流量配分図



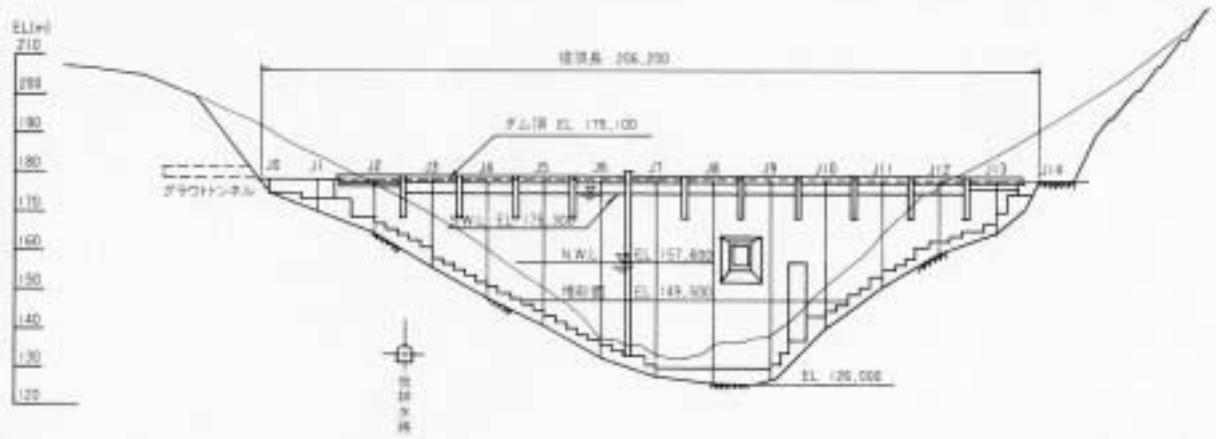
御調ダム洪水調節図

■ダム計画諸元

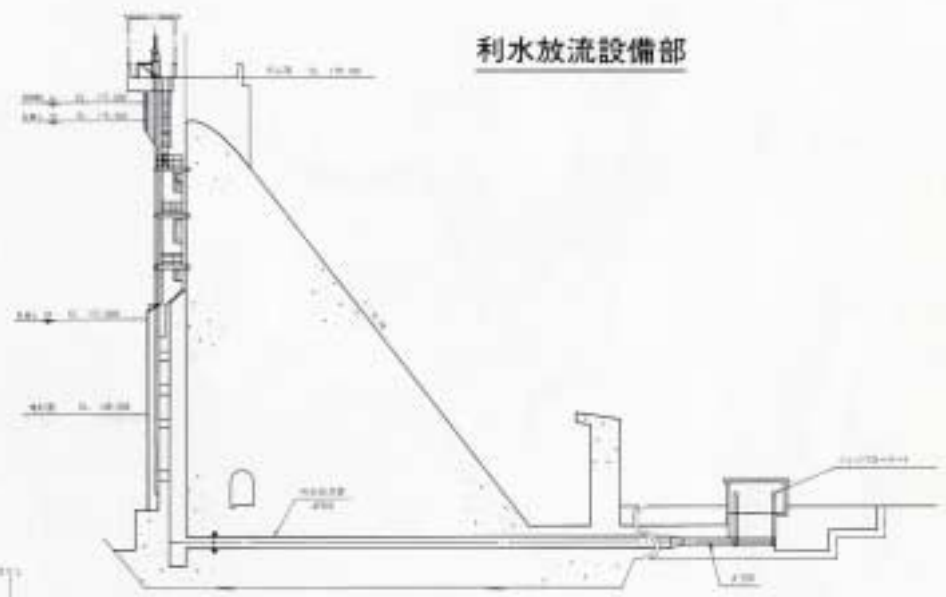
集水面積	54.0 <sup>km</sup> 2
湛水面積	0.34 <sup>km</sup> 2
総貯水容量	5,040,000 <sup>m</sup> 3
有効貯水容量	4,500,000 <sup>m</sup> 3
常時満水位	EL 157.6m
サーチャージ水位	EL175.3m
設計洪水位	EL177.3m



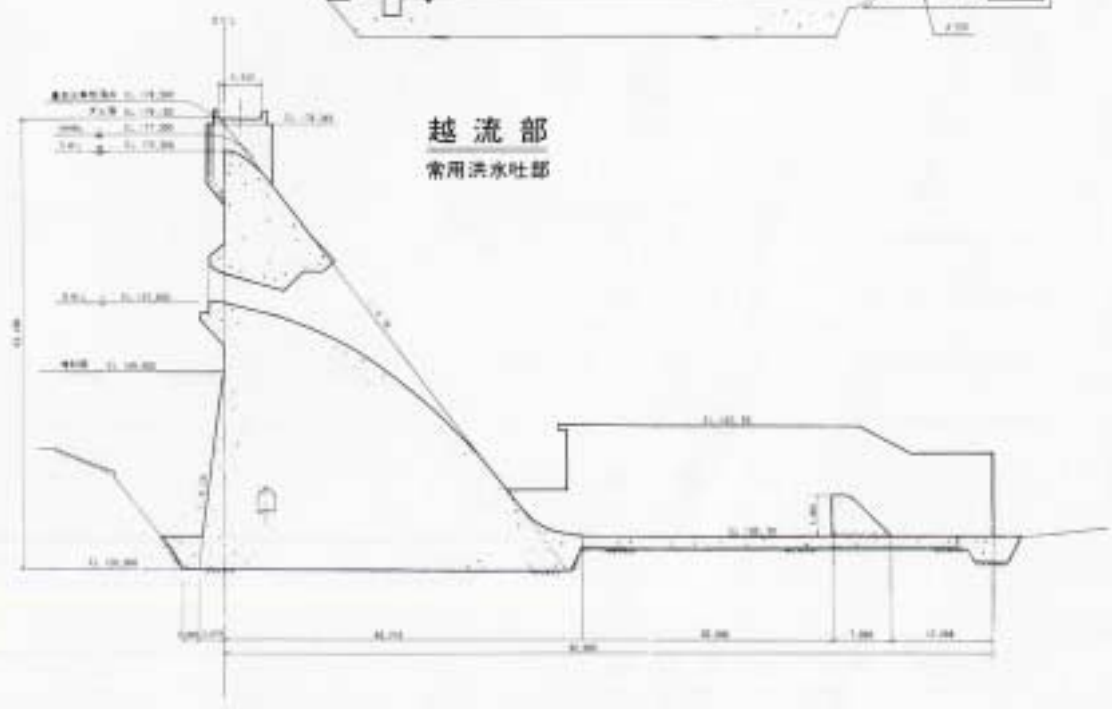
### 上流面図



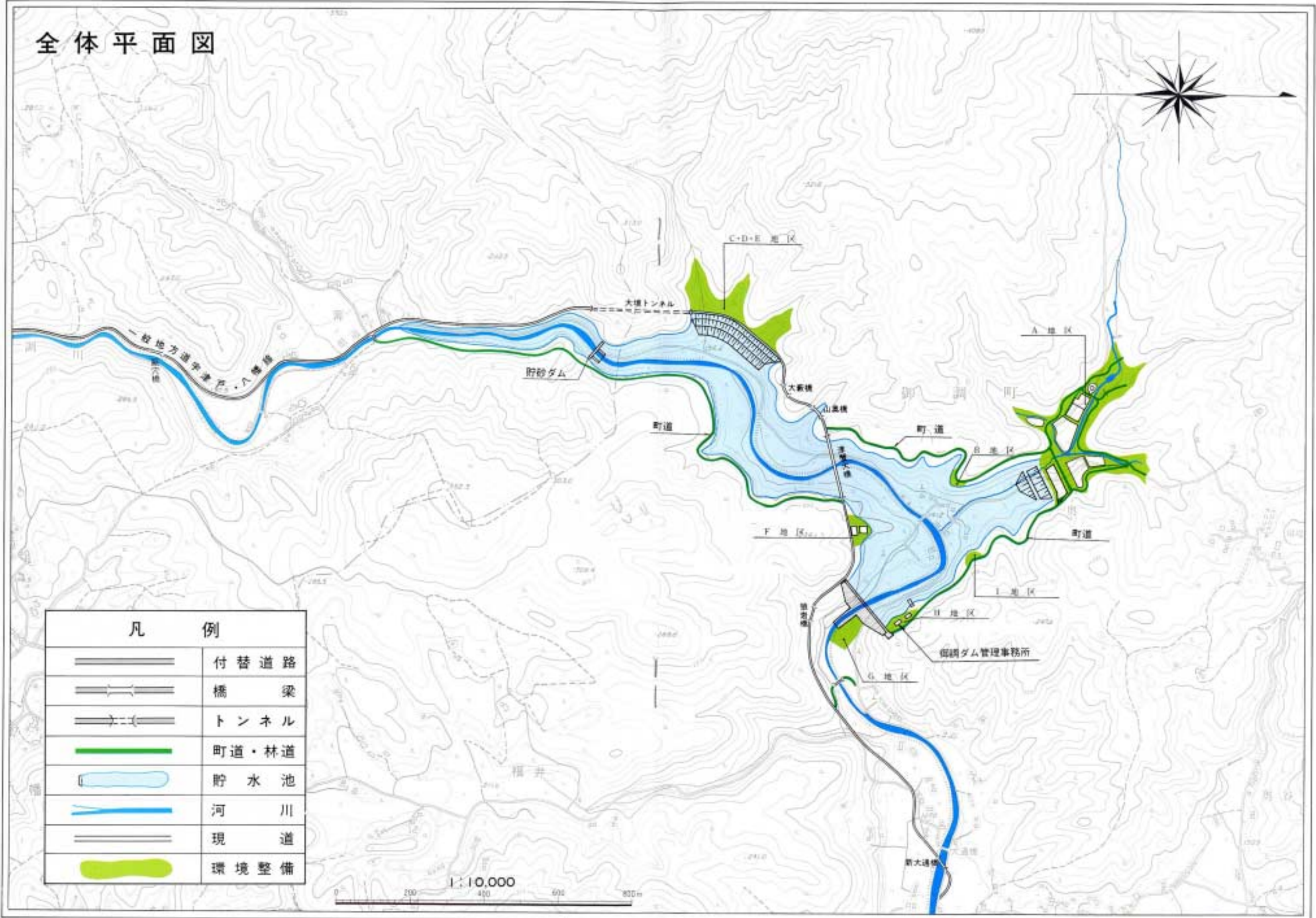
### 利水放流設備部



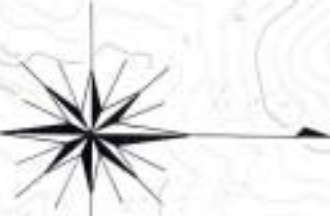
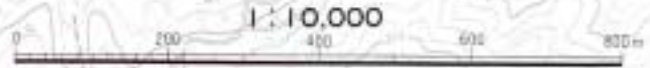
### 越流部 常用洪水吐部



# 全体平面図



凡 例	
	付替道路
	橋 梁
	トンネル
	町道・林道
	貯 水 池
	河 川
	現 道
	環 境 整 備



# ダム管理設備

常用洪水吐-表面取水塔



管理事務所



非常用洪水吐



雨量局



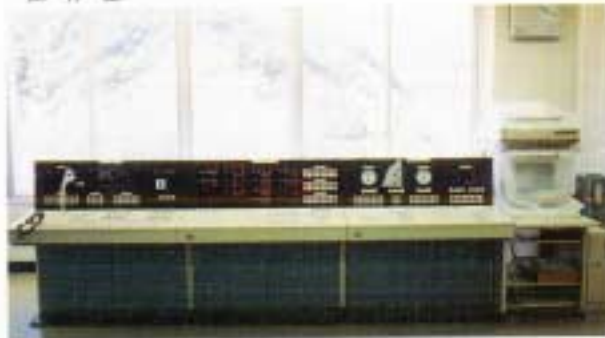
水位及び警報局



利水放流



操作室



警報板



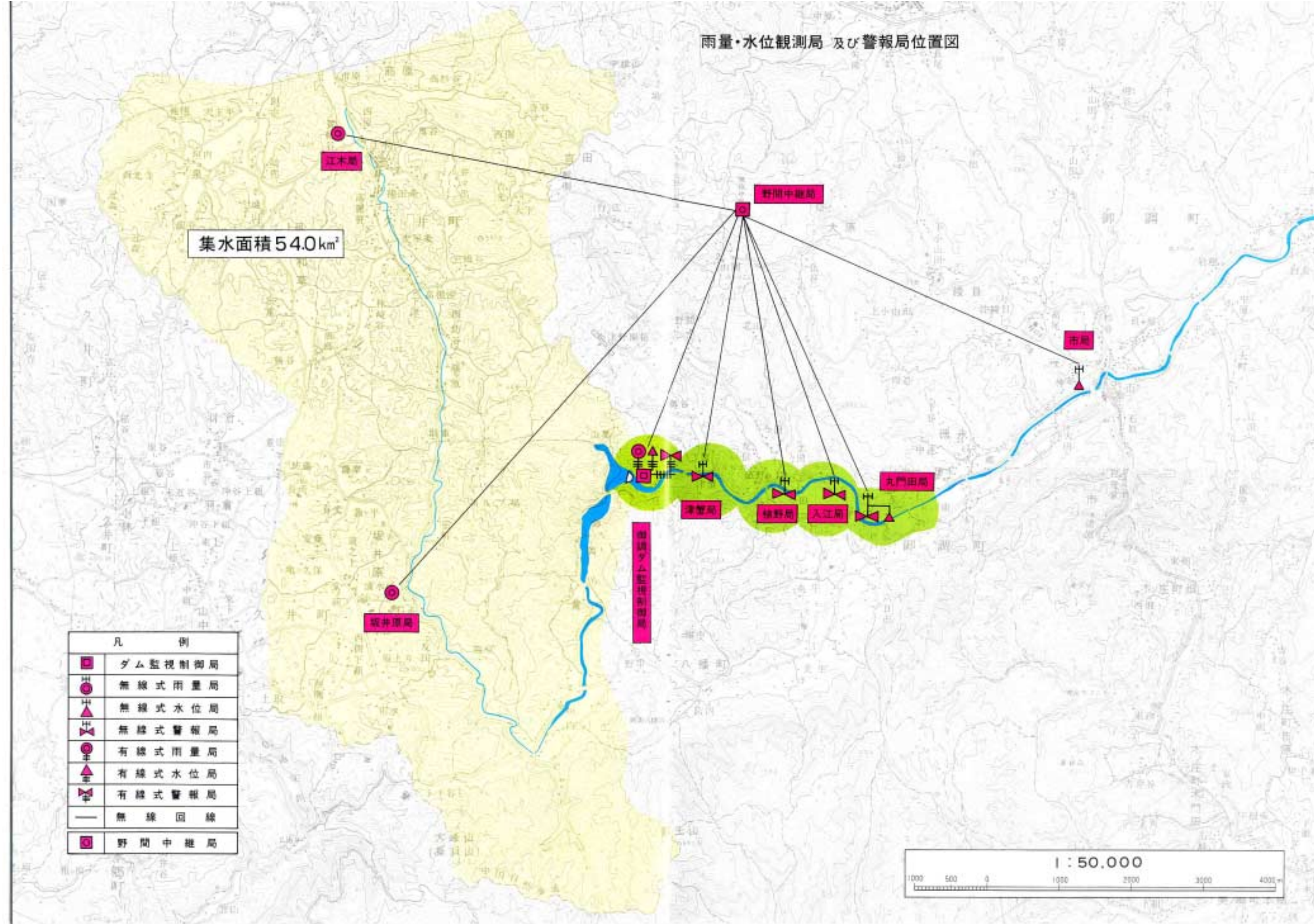
## 管理設備

## ■一覧表

種別	名称	構造及形状寸法	数量	設置場所	
電気設備	受配電設備	高圧屋内乾式6600V	1式	予備発電室	
	変電設備	変圧器整分岐盤等	1式	〃	
	予備発電設備	ディーゼルエンジン	1基	〃	
		発電機 75KVA	1基	〃	
通信設備	テレメータ装置	江木雨量局	411.475MHz 5W	1式	広島県側溝郡久井町大字江木字石田
		坂井原雨量局	411.475MHz 5W	1式	広島県側溝郡御調町大字坂井原字桃ノ岩
		御調ダム雨量局	有線 転倒雨量計	1式	広島県側溝郡御調町大字津賀字西垣内
		御調ダム水位局	有線 水研62型水位計	1式	〃
		九門田水位局	411.475MHz 5W 水研62型水位計	1式	広島県側溝郡御調町大字九門田字叶奈
		市水位局	411.475MHz 5W 水研62型水位計	1式	広島県側溝郡御調町大字市字河
	無線装置	移動無線装置	149.37MHz 10W 151.99MHz 10W	1式	広島県側溝郡御調町大字津賀字西垣内
		御調ダム警報局	有線 サイレン2.2W	1式	〃
		津賀警報局	411.475MHz 0.1W	1式	広島県側溝郡御調町大字津賀字持田中
		植野警報局	411.475MHz 1W サイレン2.2W	1式	広島県側溝郡御調町大字植野字国平
		入江警報局	411.475MHz 5W	1式	広島県側溝郡御調町大字九門田字原田
		九門田警報局	411.475MHz 5W サイレン2.2W	1式	広島県側溝郡御調町大字九門田字叶奈
		監視局	1.891MHz 0.016W	1式	管理事務所内
	広島県防犯無線野間中継局 多重無線通信装置	大谷山向け 2.023MHz 0.032W 御調ダム向け 2.021MHz 0.016W	1式	広島県側溝郡御調町大字野間字古寺	
	通信用FAX	送受信用ハナファックスUF-10000X7 <sub>U</sub>	1式	管理事務所内	
観測・計測・監視装置	雨量観測設備	転倒雨量計	3ヶ所	管理事務所内及び雨量観測局	
	水位観測設備	水研62型水位計	3ヶ所	堤体部及び水位観測局	
	環境検測装置	たわみ計	さびふり式(天端-監査用)	1台	堤体内
		埋設計器類	間隔水圧計 潮水測定	7ヶ 35ヶ	〃 〃
	気象観測装置	総合気象観 1. 風向 2. 風速 3. 温度 4. 湿度 5. 気圧 6. 蒸発 7. 水湿 8. 日射 9. 日録, 各計器	1式	管理事務所内	
	ダム諸量処理装置	FATED 205	1式	管理事務所内	
放流設備	非常用洪水吐	クレスト自由越流 高2.0m×巾13.5m	10門	堤体部	
	常用洪水吐	オリフスによる自由越流 高3.0m×巾2.7m	1門	〃	
	表面取水ゲート	多孔式ゲート高0.80m×巾0.80m	4門	〃	
	利水放流施設	ジェットフローゲートφ350mm	1門	〃	
ダム・貯水池 附属設備	排水ポンプ	水中ポンプ	1台	堤体内部	
	繫船設備	係船 33m	1式	船庫内	
	除塵施設	網場フロート式	306m	貯水池	
	焼却炉	高1.30×奥行1.51×巾1.00	1基	管理事務所敷地内	
建物	管理事務所	鉄筋コンクリート2階建	285.76㎡	広島県側溝郡御調町大字津賀字西垣内	
	予備電源室	鉄筋コンクリート平屋	54.6㎡	〃	
	車庫倉庫	鉄骨ALC造り平屋	144.0㎡	〃	
	船庫	鉄骨ALC造り平屋	47.78㎡	〃	
	テレメータ-警報局舎	ブロック造り平屋	6ヶ所	広島県側溝郡御調町・久井町	
	テレメータ-水位観測局	既設ブロック造り平屋	1ヶ所	広島県側溝郡御調町大字市字河	
	テレメータ-野間中継局	鉄筋コンクリート造り平屋	36.35㎡	広島県側溝郡御調町大字野間字古寺	
車輛及び船舶	警報車	拡声器・無線装置付	1台	広島県側溝郡御調町大字津賀字西垣内	
	漁根船	L=4.39m, 30馬力, 定員5名	1台	〃	
	運給車		2台	〃	

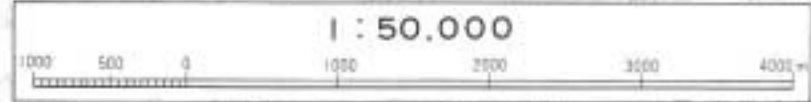


雨量・水位観測局及び警報局位置図



集水面積 54.0km<sup>2</sup>

凡 例	
	ダム監視制御局
	無線式雨量局
	無線式水位局
	無線式警報局
	有線式雨量局
	有線式水位局
	有線式警報局
	無線回線
	野間中継局





MEMO

A large, empty rectangular box intended for handwritten notes or a memo, located below the map.